西暦　　年　　月　　日 提出

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象期間 | | 西暦　 年 月 日　～　　 年 月 日　（計　　　日） | | | | | |
| 学生氏名 |  | | 印 | 学年 | |  | |
| 学籍番号 |  | | | 所属研究科 | |  | |
| 起業社名 |  | | | 会社代表者 | | |  |
| 会社代表者による【体験記】欄のチェック (必須) | | | | 外部公開 可 / 否 | | | |
| * 枠を変更しない（申請書pdfを参照すること）。図表を用いても良い。 * 体験記はHWIP のウェブサイト (外部公開)，大阪大学の広報などに使用する可能性があります．大阪大学において公開されること前提として記載してください．使用する際には連絡しません． * 本報告書に記載された文章は，研究内容に関わることは除き，HWIP の報告書や広報資料に使用することがあります．使用する際には連絡しません． | | | | | | | |
| 活動内容 | | | | | | | |
| [概要] ※ 活動内容について、簡潔にまとめて記述してください。(和文400字程度)  【この赤い文字の部分は作成時 削除してください。】   * 第三者には見せず、HWの関係教職員が本活動について審査するために用いる文章です。関係教職員とは言え全てを伝えて良いわけでは無いので、知財に関わることなど守秘義務に注意した上で、研究内容も含めて活動の内容がわかるように記述してください。 * 研究など活動の内容を記載できない場合は、その旨を記載してください。 * どのような目的で、どのような価値創造に取り組み、その結果どのような経験を積み、自身が成長できたかを明確にしてください。 * 枠を変更することは禁止です、図表を用いても構いません。 | | | | | | | |
| [詳細] | | | | | | | |
| [詳細]のつづき | | | | | | | |
|  | | | | | | | |
| 公の証拠が残らなかった理由 | | | | | | | |
|  | | | | | | | |
| 自身の寄与や成果などの説明 | | | | | | | |
| 【この赤い文字の部分は作成時 削除してください。】   * 本価値創造活動に関して、当該学生が実際に何に寄与したかを具体的に説明してください。 | | | | | | | |
| 活動の記録、成果や寄与などを示す資料の説明 | | | | | | | |
| 【この赤い文字の部分は作成時 削除してください。】   * 活動の記録とは、公の記録は無いモノであっても、本活動に関する外部でのイベントの写真など、第三者にも証拠となるモノが望ましい。 * ただし、場合によっては、内部の会議や活動時の写真や、議事録なども認められる。 * ここには、提出する資料の各々に関して、箇条書きにて説明してください。 | | | | | | | |
| ※内容が事実に相違ないことの確認：会社代表者による署名捺印 | | | | | 印 | | |

|  |
| --- |
| 価値創造活動体験記 |
| 【この赤い文字の部分は作成時 削除してください。】   * 枠を変更することは禁止です(1ページ)、図表を用いても構いません。 * ここでの記載内容も本活動の審査対象です。 * 会社代表者に、第三者に公開されることも含めて内容の許可を得てください。(許可を得られる範疇で記載してください) * 本体験記は今後、後輩への参考資料として、またホームページなどで第三者にも公表されることを前提に記載してください。 * 誰にでも活動内容がわかるようアウトリーチを意識して、下記の観点に注目して記載ください。 * 価値創造の目的や得た知識。 * 共同創業者との協働において学んだ点や気づいた点 * 成長したポイントや達成できなかった課題、それらを今後にどう生かすか * 研究室とは異なる分野、業界で働いたことで得た体験。（良かったことや大変だったこと） * 研究活動との両立について * その他、本活動の体験から学んだ重要だと思われること。例えば積極的な活動から博士人材として自らが成長できたと思うこと |